

日本結核 非結核性抗酸菌症学会 今村賞に関する申し合わせ

I. 総 則

1. 本賞は、結核および非結核性抗酸菌症に関する優れた研究業績を上げた本会会員に対して、選考の上、本学会総会において授与する。
2. 本賞は賞状ならびに賞金をもってこれにあてる。
3. 受賞者は受賞後、本学会総会において記念講演を行い、すみやかに講演内容を英文で本学会の会誌上に発表する。

II. 選 考

4. 受賞候補業績（以下、受賞業績という）の主論文は、応募時までの約3年以内に本学会の会誌に掲載された論文を必須とし、併せて別途定める応募要項の書類が必要である。
5. 受賞業績は学会賞選考委員会において選考され、理事会において承認を受け、選考年度の今村賞として社員総会へ報告するものとする。
6. 受賞者は原則として1名とする。

2019年6月6日 一部改定

2020年10月11日 一部改定

今村賞募集要項

2023年度今村賞受賞候補業績の募集を下記の募集要項に従って行いますので、ふるってご応募くださるようご案内申し上げます。

I. 選 考

1. 受賞候補業績（以下、単に受賞業績という）の主論文は、3年以内に本学会の機関誌に掲載された論文を必須とし、本会会員より応募されたものとする。
2. 受賞業績は、個人研究または共同研究のいずれでもよい。
3. その他の事項については、「今村賞に関する申し合わせ」を参照のこと。

II. 提出書類（A4判にて1～6を1部とし、11部提出）

1. 表紙のタイトルは2023年度今村賞応募者とし、氏名・生年月日・所属・業績の題目を記載。
2. 業績の題目および要旨（2,000字以内、提出論文との関連を明確に記載したもの）。
3. 応募者の学歴および研究歴。なお、研究歴の下に当該業績または他の業績に対して受賞したことのある場合はその旨付記すること。
4. 業績一覧。
5. 当該業績（提出論文）およびそれに関連する業績の論文（5篇以内）の別刷。
6. 業績一覧には、応募者の名前に下線を引き、提出日直近の評価で、1) Impact Factor（数値）2) Citation Index（引用数）を各原著論文に付し、3) 応募者が Corresponding Author である論文には自身の名前に*を付して明示すること。なお、1), 2) については Thomson Reuters の Web of Science を使用すること。

III. 締切日

2023年10月1日（日）消印。

IV. 応募書類の送付先等

表書に今村賞応募書類と明記し、特定記録郵便や（簡易）書留等で日本結核 非結核性抗酸菌症学会事務局宛に送付。

付記：

1. 受賞者は第99回日本結核 非結核性抗酸菌症学会総会で記念講演を行い、講演内容を英文で結核誌上に発表する。
2. 今村賞に関する書類は特別の事情がないかぎり返戻しない。